

12 開で⑩に○をつけた区町村の回答してください。
 教育委員会が、各学校において、学校支援の取組を促進するために、行政が主催（予算・実施）
 について、該当するものに○をつけてください。（いくつでも）

- 1 学校・企業等・コーディネーター3者の意見交換・交流の場を設けている
- 2 企業等・コーディネーター2者の意見交換・交流の場を設けている
- 3 学校とコーディネーター2者の意見交換・交流の場を設けている
- 4 学校と企業等2者の意見交換・交流の場を設けている
- 5 コーディネーター相互の意見交換・交流の場を設けている
- 6 その他（具体的に）

13 教育委員会が、各学校において、学校支援の取組を促進するために、行政が主催（予算・実施）
 重、資料や実施計画策定等）して取り組んでいることについて、該当するものに○をつけてくだ
 さい。（いくつでも）

- 1 各学校における連絡窓口（担当者）の設置
- 2 学校支援の取組を活かした教育課程や年間授業計画の策定
- 3 「コーディネーター室」等コーディネーターの常駐場の設置
- 4 「ボランティア室」等の活動室等の設置
- 5 企業・NPO等に列する学校ニーズや連携例の掲載発信
- 6 教員に対する学校支援の取組に関する理解の促進（例：校内研修実施、事例集等を活用した研究
 等）
- 7 教員による学校支援の取組を活かした教育プログラム・教材等の開発
- 8 その他（具体的に）

14 教育委員会が学校支援のコーディネーターの活動内容として期待していることについて、該
 当するものに○をつけてください。（いくつでも）

- 1 地域人材等（ボランティア）の発掘・活動計画立案・日程調整等
- 2 地域人材等（ボランティア）向け説明会・研修の企画・実施
- 3 学校支援活動の広報・普及活動
- 4 学校支援活動に関する活動記録作成
- 5 企業等と連携した授業支援プログラムの情報収集・企画・提案
- 6 学校支援に関する連携委員会等への出席
- 7 学校支援活動に必要な用品等の調達
- 8 学校・子供や地域のニーズ・状況把握
- 9 その他（具体的に）
- 10 教育委員会としては特に明確に定めていない

15 コーディネーター候補者の発掘について、該当するものに○をつけてください。（いくつでも）

- 1 各学校の校長等教職員から推薦
- 2 現コーディネーターから推薦
- 3 PTA役員や日頃付き合いのある地域住民から推薦
- 4 学校運営協議会委員、学校評議員等日頃学校と関係のある地域住民から推薦
- 5 社会教育委員、青少年委員等行政委嘱委員経験者から推薦
- 6 その他（具体的に）

16 コーディネーターの依頼・委嘱の方法について、該当する番号を選択してください。（1つだけ）

- 1 口頭による依頼
- 2 委嘱状等文書による依頼・委嘱
- 3 その他（具体的に）

17 開18の依頼・委嘱者について、該当する番号を選択してください。（1つだけ）

- 1 教育委員会
- 2 教育長
- 3 教育委員会事務局所管部・課長
- 4 学校長
- 5 その他（具体的に）
- 6 特に委嘱状の発行・発令等していない

選択欄	「その他」の内容記入欄！
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

小学校に対して	中学校に対して
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
	「その他」の内容記入欄！

小学校で活動する場合	中学校で活動する場合
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
	「その他」の内容記入欄！
	⑩

選択欄	「その他」の内容記入欄！
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

選択欄	「その他」の内容記入欄！
①	
②	
③	

選択欄	「その他」の内容記入欄！
①	
②	
③	

18 開18のコーディネーターの依頼・委嘱期間について、該当する番号を選択してください。（1つだけ）

- 1 1年間
- 2 2年間
- 3 3年間
- 4 その他（具体的に）
- 5 特に期間は定めていない

19 貴区市町村内のコーディネーターの間で、自主的な組織や活動がありますか、該当するものに○をつけてください。（いくつでも）

- 1 連絡会を実施
- 2 交流会を実施
- 3 研修会を実施
- 4 ニュースレター等会報や広報紙の発行
- 5 メーリングリストやSNS等ITを活用した情報交換
- 6 その他（具体的に）
- 7 把握していない

20 貴区市町村内には活動する町民の会等・大学・NPO・行政機関等様々なパーで構成
 された学校支援の取組を目的としている組織やコンソーシアムがありますか、該
 当するものに○をつけてください。

- 1 ある 一名称を記入
- 2 ない

21 貴教育委員会では大学や企業・NPO等と、学校支援の取組が育まれる協定等を締結していま
 すか、該当するものに○をつけてください。

- 1 ある 一協定先及び協定の名称、学校支援の領域・内容等を記入
- 2 ない

22 貴教育委員会において、当初学校支援の取組を導入した区は、現時点での導入した
 区と、効果・効果について、小・中学校それぞれに該当するものに○をつけてください。（3つま
 で）

- 1 子供たちの規範意識、コミュニケーション能力の向上につながった
- 2 子供たちの生活リズムや授業態度の向上につながった
- 3 子供たちの授業に対する興味・関心が高まり学習向上につながった（学習向上につながった）
- 4 子供たちの体力向上につながった
- 5 子供たちの地域に対する興味・関心が高まった（高まった）
- 6 教員が授業や生徒指導などにより力を注ぐことができるようになった
- 7 地域人材等（ボランティア）等地域の学校・子供に対する関心が高まり、協力者が増えるようになった
- 8 学校と地域の連携が深まり、交流の機会が増えるようになった
- 9 地域のきずなが深まり、地域が活性化することになった
- 10 その他（具体的に）
- 11 まだ効果を感じていない
- 12 回答欄（取組の部分が選択可）

23 学校支援の取組を充実・定着させていくために、貴教育委員会において、今後、どのような取
 組が必要だと考えていますか、特に必要だと考えるものに○をつけてください。（3つまで）

- 1 行政における体制整備の充実
- 2 行政内におけるコーディネーターへのサポートの充実
- 3 行政としてのコーディネーターの位置づけ・役割の明確化
- 4 行政としての学校へのサポートの充実
- 5 行政による地域人材等（ボランティア）へのサポートの充実
- 6 学校教職員の理解の促進
- 7 学校における変人体制の確立の促進
- 8 コーディネーター7校の連携・意識疎通の促進
- 9 参考となる事例情報やノウハウ・ツールの取集・提供の充実
- 10 学校・地域・行政等関係者の学校支援活動の主旨等の共有化の促進
- 11 その他（具体的に）
- 12 特に必要となる取組はない

24 開17の依頼・委嘱した区町村の回答について、該当するものに○をつけてください。（1つだけ）

- 1 取り組む必要がないため
- 2 実施に際して課題があるため（具体的に）
- 3 その他（具体的に）

質問は以上です。ご協力いただき、ありがとうございます。

学校支援の取組に関する実態調査[コーディネーター用]集計結果

【調査概要】

○調査実施時期 平成26年12月～平成27年1月

○調査対象

- 平成26年度学校支援ボランティア推進協議会事業実施地区(23区市町)
 - 港区 文京区 豊田区 江東区 板橋区 小平市 北区 日野市
 - 世田谷区 大田区 葛飾区 八王子市 稲城市
 - 中野区 調布市 府中市 あきる野市
 - 杉並区 町田市

○回収率

コーディネーター総数	1359人中	回収率
学習実施自治体数	23自治体中	80%
		87%

○有効回答数 818

○主な調査項目

○コーディネーターの役割、活動内容、活動に関する意識など

(問1の設問は「所属自治体」名記入欄のため略)

問2 学校種別 (N=818)

主に小学校で活動	590	72%
主に中学校で活動	228	28%
計	818	

問4 年齢層 (N=818)

	全体	男性	女性
50歳代	334	40.8%	262
40歳代	288	35.2%	243
30歳代	15	1.8%	5
30歳未満	3	0.4%	0
計	818	212	606

問5 コーディネーター経験年数 (N=818)

	全体	男性	女性
4年以上	222	27.1%	162
1年以上2年未満	174	21.3%	131
1年以下	139	17.0%	96
2年以上3年未満	134	16.4%	101
計	818	212	606

問3 性別 (N=818)

男	212	26%
女	606	74%
計	818	

問7 放課後子供教室との関係(コーディネーター兼任状況) (N=615)

	全体		男女別		校種別	
	男	女	男	女	小学校	中学校
①兼任している	84	13.7%	26	14.3%	58	13.4%
②兼任していない	531	86.3%	156	85.7%	375	86.6%
計	615		182		441	

問8 学校支援の取組をしようと思ったきっかけ(コーディネーターとなったきっかけ) (N=818)

※複数回答(3つまで)

	全体		男女別		校種別	
	男	女	男	女	小学校	中学校
学校(又は行政)から頼まれたから	533	25.9%	139	26.5%	394	25.8%
教員が授業や生徒指導などにより力を注げるよう支援できると思ったから	346	16.8%	79	15.1%	267	17.5%
子供たちの学力や体力や健康意識、コミュニケーション能力、授業態度の向上等につながると思ったから	280	13.6%	70	13.4%	210	13.7%
地域の教育力が向上し、地域の活性化につながると思ったから	241	11.7%	82	15.6%	159	10.4%
コーディネーターや地域人材等(ボランティア)自身の楽しみ、生きがいづくりや自分の成長につながると思ったから	215	10.5%	54	10.3%	161	10.5%
何人かの役にたつたから	170	8.3%	36	6.9%	134	8.8%
コーディネーターから誘われたから	139	6.8%	23	4.4%	116	7.6%
地域住民の生きがいづくりや自己実現につながると思ったから	93	4.5%	35	6.7%	58	3.8%
その他	37	1.8%	6	1.1%	31	2.0%
計	2,054		524		1,530	

【その他の記述例】

- ・校務やIT授業に支援が必要だと感じた
- ・学年前より自主的に運営している活動について、学校の取組の一つと位置づけて学校で実施することができると考えた
- ・手伝える大人がいる事で少しでも子供達が過ごす環境が良くなれば良いと思ったから。
- ・学校教育がより開かれたものになってほしいと思った

問9 コーディネーターとしてのおおよその平均活動日数 (N=817)

	全体		男女別		校種別	
	男	女	男	女	小学校	中学校
月1～5日程度	345	42.2%	93	43.9%	252	41.7%
月6日～10日程度	215	26.3%	36	17.0%	179	29.6%
月11日から20日程度	128	15.7%	19	9.0%	109	18.0%
年間数日程度	120	14.7%	60	28.3%	60	9.9%
月21日以上	9	1.1%	4	1.9%	5	0.8%
計	817		212		605	

【その他の記述例】 同窓会、青少年健全育成地区委員、社会教育委員、元青少年委員、おやじの会